

一条通病院	旭川市東光1条1丁目	34-2111
旭川病院	旭川市神楽3条4丁目	61-1117
旭川北病院	旭川市大町2条14丁目	53-2111
宗谷病院	稚内市末広3丁目(稚)	24-1117
ながやま医院	旭川市永山5条11丁目	46-2211
一条クリニック	旭川市東光1条1丁目	34-1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽3条4丁目	63-1165
東光ぬくもりポート	旭川市東光1条1丁目	34-2917
一条ケアセンター	旭川市東光1条1丁目	31-1152
宗谷さわやかポート	稚内市末広3丁目(稚)	24-2223



2019年6月1日
第518号
 発行所
道北勤労者医療協会
 〒078-8341 旭川市東光1条1丁目
 TEL 0166-33-1117
 FAX 0166-32-6925
 E-Mail tomonokai@dohoku-kinikyo.or.jp
 発行者 八重樫典生

まちづくり運動と医師確保を前進させよう

道北勤医協第60回通常社員総会

友の会、地域住民との協力共同を広げよう

5月25日、道北勤医協第60回通常社員総会が旭川市のトーヨーホテルで開催されました。今総会では地域での様々な困難の広がりや、医師不足等の課題をふまえて、1年間の活動を振り返りながら新年度の活動方針を討議し、提案された議案は満場一致ですべて採択されました。

最初に理事会を代表して鈴木和仁理事長が挨拶しました(詳細別項)。



八重樫専務理事

北海道民医連・橋本浩徳事務局長、道北勤医協友の会連合会・上ヶ嶋哲雄会長、道北勤医協労働組合・長瀬多加洋書記次長、真下紀子北海道議会議員からそれぞれ来賓挨拶がありました。



満場一致の採決の様子

続いて議案提案を行った八重樫典生専務理事は情勢報告の中で、「道北勤医協は創立以来44年間、日本国憲法のもと、民医連綱領に団結し無差別平等の医療と介護を実践してきた」としながら、一方で私たちがとりまく情勢や国民生活の厳しさにふれ、「地域に様々な困難が広がっている今だからこそ、私たち民医連への期待が一層大きくなっている」とその存在意義を強調しました。

旺盛な討論で議案深める

議案提案を受けた討論では17の発言があり、1年間の豊かな活動と今後の方向性を示す議案内容を深めるものでした。



大友社員

一条通病院医局課の山川健一社員は医師確保大運動の現状について報告。今年2月から医師確保大運動推進本部会議を設置し、医師医学生との紹介

の医療介護を実践し、地域からの信頼と勤医協の値打ちを輝かせる③友等の医療介護を実践し、地域からの信頼と勤医協の値打ちを輝かせる③友の会・住民との共同でまちづくり運動と医師確保運動を一体にとらえ、医療・介護の実践から生ま

介運動を推進しているものの既卒医師確保の成果が上がっていない現状を率直に報告しました。また、もう一方の対策として医学生とのつながり強化を挙げ、今までの以上に道北勤医協での実習や企画への参加の中で魅力を感じることを重要性を説明するとともに、友の会からの紹介活動を広げることへの協力を訴えました。

様々な課題克服に全力挙げよう

昨年医師体制の脆弱さに翻弄された1年となりました。旭川北病院、ながやま医院の診療縮小では多くの関係者の方々に議論いただき、最終的に理事会提案をご承認いただけましたことに感謝申し上げます。医師確保大運動についても、今回の社員総会を皮切りに、道北各地域での議論

を加速し、理事会を先頭に社員・職員の協働でこの難局を乗り越えていきたいと思います。さて4月の統一地方選挙が終わり、いよいよ参議院選挙をにらんだ動きが活発になってきました。民医連綱領は憲法の国民主権と平和的生存権、基本的人権の理念を高く掲げ、その実現をめざすことを明示しています。

改憲発議を絶対許さないこと、そして安倍9条改憲の極めて危険な本質を国民多数の認識にしていくことがひきつづき重

要です。すべての職員、患者さん、共同組織の皆さんが選挙に行くことで9条改憲を葬り去り、今後の日本に希望が見出せる参議院選挙となるよう努力して参りましょう。

昨年来、道北勤医協では「健康の社会的決定要因(SDHE)」の学習に取り組んできました。健康の社会的決定要因の代表的なものに社会的孤立があります。目の前の社会的孤立を軽くする方法は、その人と社会とのつながりを強くするための機会を提供することです。道

北勤医協が本格的なまちづくり活動に関わろうとするとき、アウトリーチ活動の一層の追求が重要となります。身の回りの独居高齢者に関心をむけ、そうした方々を地域の方々と一緒に包摂する運動に全力をあげましょう。

「人口減少・大都市集中・階級社会化・環境破壊」という日本社会の現状を変革し、人口減少の緩和、地方分散、公平で健康である持続可能な日本社会を作り上げることに貢献できる組織として発展して参りましょう。

「人口減少・大都市集中・階級社会化・環境破壊」という日本社会の現状を変革し、人口減少の緩和、地方分散、公平で健康である持続可能な日本社会を作り上げることに貢献できる組織として発展して参りましょう。



理事長 鈴木 和仁



八重樫専務理事

「人口減少・大都市集中・階級社会化・環境破壊」という日本社会の現状を変革し、人口減少の緩和、地方分散、公平で健康である持続可能な日本社会を作り上げることに貢献できる組織として発展して参りましょう。

9条改憲許さない！ 核のない平和な世界を！

「安倍改憲反対」

総がかり行動

5月3日の憲法記念日、旭川市で行われた安倍政権の進める改憲の動きに反対の意思を示す総がかり行動に、道北勤医協と友の会連合会が参加しました。

集会和デモ行進に参加した入職2年目の事務職員、曾我部直哉さんは「連休中にも関わらず多くの



デモ行進の様子

参加者がいて、改憲阻止への関心の高さが感じられました」との感想を述べるとともに、「憲法9条改憲は日本が世界に『戦争しない』という表明を変えてしまうことにつながり、それはどうなのかと考えてしまます」と改憲が及ぼす平和維持への影響を憂慮します。「命と健康を守る立場で



曾我部さん

このような運動にこれからも参加していきたいし、家族や職場の仲間と一緒に参加できるように声を述べました。

「原水爆禁止」

国民平和大行進



手を振り行進する山本さん(前列右)

人民の命を脅かす核兵器の全面禁止と廃絶等を求め、全国を歩いて縦断する平和大行進。今年は5月4日に礼文島を出発。6日に稚内市、11日に旭川市でそれぞれ集会和行進が行われました。また、中頓別町から紋別市まで行進するオホーツク海

コースに忠和友の会事務局長の山本幸子さんが参加しました。

友の会 スポットライト

宗谷医院の歴史と共に

稚内潮見が丘友の会

稚内市に宗谷医院が開設されてから25年。宗谷地域での民主的医療の旗頭として宗谷医院を建設する運動を、稚内市内の萩見、富岡、朝日の地区で推進したメンバーが中心となって作られた潮見が丘友の会。2019年4月末現在で地区の人口の約15%となる1270人が友の会員となっています。

潮見が丘友の会では配布世話人さんの高齢化が進み、病气や転居などで配布できなくなった方がここ数年多く現れていました。その結果、昨年までは配布世話人の最高年齢が90歳台であったり、配布できなくなったり、配布できない方がひたりで最高100部も抱えたことがあったそうです。そこで新たな配布世話人さんを募集する案内チラシを道北の医療に挟み込んだところ、2人の会員さんから協力の申し出がありました。



道北の医療の仕分け作業を行う役員さん

快晴の下、お花見開催 多くの友の会員が参加

5月18日(土)、病院、診療所のお花見が市内公園で行われ、多くの友の会員と職員が参加しました。一条通病院お花見は、神楽岡公園でジンギスカン鍋を囲みました。新入職員の紹介もあり、楽しい時間を過ごしました。

また、忠別公園が会場の旭川医院お花見は、懇親と共に人事異動となった職員が挨拶する場となりました。



一条通病院



旭川医院

医療と介護福祉制度の改善を

国会議員への要請行動

5月15日、全国の民医連が東京の国会議員会館に集結し、地元出身の国会議員に要請書を手渡す

行動を行いました。道北勤医協からは新入職員3人を含む総勢4人の職員を派遣しました。

この要請行動は全日本民医連が主催し、医療介護の現場からの要求を職員自ら議員に訴え、国民により良い制度への改善を求めるものでした。

行動に参加した医療ソーシャルワーカーの宮澤俊さんは「自分の業務を通じて地域の中の経済的格差を実感していたことや子どもの貧困などへの関心から、政治と暮らしは結びついていると考えていました。国会議員や秘書の方に直接自分たちの要求を伝えることができるとは知らなかったし、こういうことを続ければ社会は変わると感じました」と感想を述べました。

友の会と民医連をつなぐ月刊誌

「いつでも元気」 読んでみませんか

医療・福祉の話題はもちろん、お料理や旅、海外の情報から有名人まで、内容は盛りだくさん！まずは手にとって、ページをめくってみましょう～♪見本誌は各院所待合に置いてあります。

購読ご希望は、お知り合いの友の会役員さんや各院所窓口などにお声がけください。1冊380円です。



「道北の医療」を配布するための準備作業として毎月最終日曜日、7～8人の役員さんが集まり、道北の医療についても元気の仕分けを行っています。おしゃべりしながら和気あいあいの雰囲気です。事務局長の稲田義勝さんが休憩時に淹れるおいしいコーヒーも楽しみの一つです。

「発送作業や新聞配布も大変に感じてきてはいるけれど、宗谷医院をつくらせてくれた責任もあるから頑張っているんです」と役員さんたちは語ります。その言葉からは、宗谷医院が「自分たちの医療機関である」との思いと深い絆が強く伺えます。「宗谷医院に入院ベッドがなくなることがショックだったけれど、将来的には宗谷医院の医師を3人体制にして外来の待ち時間が短くなれば」と大きな夢と展望を持っています。

シリーズ みんなの医療講座

一条通病院内科の千葉と申します。本稿をご覧いただきありがとうございます。

さて、今回の医療講座はタイトルにありますように「医師不足」についてお伝えしてまいりたいと思います。

当法人が今月から一部の診療所の外来診療体制を縮小したことは、今読まれている皆さんのうち多くの方がご存知のことと思います。このことにより、患者さん、ご家族の皆さんには大変な心配とご迷惑をおかけしておりますことを、ここに改めてお詫び申し上げます。

医師研修システム変更が医師不足の一因

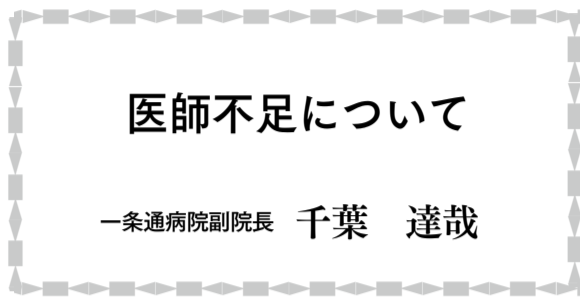
さて、その診療体制縮小の原因は、言うまでもなく医師不足です。かつては医学部を卒業し、そのまま研修医としての生活を北海道民医連で始めることができました。北海道民医連としては、将来的に民医連医療を担



うと考えている研修医に對して、地域や患者さんにとって十分な技術・知識・診療態度などを身に付けられる機会を提供してきています。そして、研修を

医師不足について

一条通病院副院長 千葉 達哉



終えた医師はその多くがその後北海道民医連の医師として全道各地の勤務医として民医連医療を実践してきました。

しかし、近年は医学学生の大学卒業後の研修システムが大幅に変更され、卒業直後の数年間は、国

医師、医学生の情報提供とご紹介を

研修時代の若い医師が増えないため、皆さんご存知のように、今までの常勤医の高齢化だけが進んでいくということになります。このままでは早晩更なる診療体制の縮小が必要になる可能性があります。



連絡先
電話 0166-34-2111
担当 大久保 まで

ぜひともよろしくお願いたします。

相談室の窓

A子さんは75才。83才の夫とともに要介護認定を受けており、ご夫婦で有料老人ホームに入所していました。夫が骨折し

弁護士に相談し、借金の対応と夫の成年後見制度利用の手続きを依頼しました。

特別養護老人ホームに入所することができました。

普通生活している人たちが病気やケガなどで介護が必要になった時、医療・福祉関係者が対応できない課題が表面化するケースがあります。弁護士や司法書士、時には保護観察官

司法分野との連携 金銭問題の一例から

借りにアパートを借りて自由に生活したいという思いを実現することになりました。しかし、ご夫婦の借金の返済が滞っていました。

成人後見人も引き受けてくれませんでした。その結果、A子さんはアパートを借り、自立した生活をいきいきと送っています。夫は、老人保健施設を経て

社士が行う成年後見制度の申立てに係る書類作成等の具体的な手続きを行う行為が、非弁行為や非司行為（弁護士や司法書士でないものがその業務をすること）に抵触する、

医療ソーシャルワーカー 杉原 和人

介護の魅力とやりがいをお伝えします キラッと★介護

認知症と向き合う 職員集団

私が勤務する「かたくりの郷2階療養棟」は認知症ケア専門棟です。「生活自立度Ⅲa以上」であることが入所の条件となつています。生活自立度Ⅲaとは、「日中を中心として着替え・食事・排泄が上手に行えなくなる」、「徘徊・火の不始末が多くなる」などの状態を指します。もちろん

一日の中で笑顔になれる時間を少しでも作ろうと、昼食後はボール投げやカルタ、歌を歌ったり過ごしています。様々な認知症の方たちが一緒に出来る事は限られてはいませんが、何が楽しめるかを更に追求していきたい



笑顔で入所者に接する若手職員

2階療養棟の介護福祉士の役割は「認知症と向き合う」事です。今後とも皆さんの利用者さんと向き合い、多くを学んでそれを次に活かせる職員集団でありたいです。

かたくりの郷2階療養棟 介護福祉士主任 蛸名久宮子

友の会無料法律相談のお知らせ

6月18日(火)、午後2時から「あかつき法律事務所」の畑地雅之弁護士がご相談をお受けします。※予約制です(担当者が事前に相談内容をお聞きしますが、秘密は厳守いたします)。連絡先 33-0854 (友の会連合会)



4つの友の会が総会開く



会員を広げる議論深める
神楽岡友の会総会 (5/11)



健康守る活動を広げよう
緑が丘友の会総会 (5/12)



コグニサイズで認知症予防
美瑛友の会総会 (5/16)



地域住民の命と健康守ろう
神楽友の会総会 (5/18)

友の会 だより

各地での取り組み

和気あいあいの班会 春光友の会のお笑い班

4月18日、春光友の会のお笑い班が班会を開きました。昨年結成25周年を迎えましたが、新たな仲間も増えながら引き続き定期的に活動を行っています。

山口光子センター長や春光友の会の相澤光行会長も参加して、健康チェックと健康講座を行いながら、近況や体調などの話に花が咲きます。初参加の会員さんも和気あいあいの雰囲気の中で楽しんでいました。



病院前に心和む花壇を 千代田友の会

雪解けの4月下旬、一条通病院正面玄関前の花壇が整備されました。この作業は千代田友の会の高島信行会長が土起こしから植栽までを行いました。花の種類を書いたプレートまで設置され、花を見る人への心遣いも感じられます。土のみだった花壇が生命の息吹を得て蘇り、病院前の雰囲気も変わりました。この花壇の彩りは、病気に苦しみ来院される方の心を和ませるものになるでしょう。



水やりする高島会長(左)と植栽された花

「道北の医療」 宅配しています

町から独居高齢者の 孤独死を無くしたい

和寒友の会 岩崎 茂さん



2010年に結成された和寒友の会。岩崎さん

「この町から高年齢者の孤独死を無くそう」との強い思いで友の会会長を引き受けました。

「友の会結成以降は孤独死が無くなりました」と本当に嬉しそうに語る岩崎さんは他の役員さんらとともに会員さん同士を結びつけ、その命と健康を守る大きな役割を担っています。

は会長を務めています。結成に合わせて現事務局長の虻川理致子さんがひとり宅配していた「道北の医療」を役員さんで分担して配布することになり、自身も配布者に加わったそうです。

そして独居高齢者に声をかけ入会を呼びかけ、40人程度だった会員数が100人を超えました。結成以来欠かさず行っている毎年3回程度の行事が、安否確認と健康維持の啓発活動につながっています。会員さんもこの行事に参加することを大変楽しみにしているそうです。

本紙記事のご感想やご意見、みなさまの日常の出来事、絵手紙などの投稿をお待ちしています。クロスワードパズルの「応募」と一緒にお寄せください。掲載させていただきます方には図書カードをお送りします(編集部)

読者のみなさまへ



国は医師増の対策を

稚内市 中尾真紀子さん

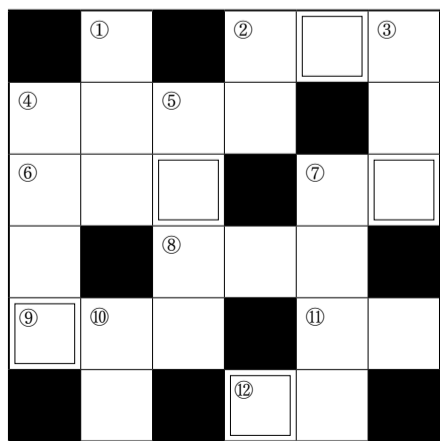
稚内市に循環器の専門医がいなかったため、患者さんは3時間以上かけて他市の医療機関に通っています。国の政策として、

福祉大改善に我慢限界

岩見沢市 長谷川信博さん

まずは医師を増やし、偏在を解消し、住民の健康を守る取り組みをすぐに始めてもらいたいと切に願っています。

クロスワードパズル 362



ヨコのかぎ

- ② 麻疹の別名。
- ④ 炭を使う調理用の炉。
- ⑥ ココナッツオイル。日本語では?
- ⑦ 春秋冬。何の季節がない?
- ⑧ 大勢の人が群がり集まるたとえ。
- ⑨ 直接、火にあてること。
- ⑪ うわべを飾ること。〇〇を張る。
- ⑫ 習慣や慣わし。

タテのかぎ

- ① 九九。8の段で32が答えの式は?
- ② 〇〇核運動広げよう。
- ③ 文章に書き加えること。
- ④ ご飯を茶碗に盛るヘラ。
- ⑤ 三国志の武将。〇〇〇〇
- ⑥ 玄徳。
- ⑦ 社寺の境内などにある店のこと。
- ⑩ 過密の反対。

応募方法

2重マスの字を組み合わせて、ある言葉(ヒント参照)を作ってください。ご応募は、ハガキ、各院所にある「応募用紙」、Eメールで、答え、氏名、郵便番号、住所を記入しお送りください。抽選で20人の方に図書カードをお送りします。

クロスワードパズル4月号解答

シ	ヨ	ウ	ヒ	ク	コ
バ	ブル	ト	ラ	ノ	イン
イ	ク	ラ	ク	ゴ	マ
キ	チ	ズ	ナ	カ	ミ

当選者20人(敬称略)

太田壽幸、齋藤真留人、竹中道子、塚田宏、中村玲子、藤井隆男、前田行雄、三浦京子、道塚瞬(以上旭川市)、渡辺弘子(士別市)、河村陽子(美瑛町)、佐々木カネ子(東川町)、伊藤幸治、澤野玲奈、名張葵、松本京子、山本実穂(以上稚内市)、鷲見美代子(幌延町)、藤田佳丈(江別市)、堀江絢子(滝川市)

今年6月と12月にはありません